

平成 30 年度 (一社) 愛知県鍼灸師会 公益活動報告

- ・ 2018 スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲーム・愛知

鍼灸ボランティア活動 (報告者 2 名)

- ・ 平成 30 年度 愛西市健康祭り鍼灸ボランティア活動

- ・ 第 38 回 全日本歯科医師テニス大会 スポーツ鍼灸トレーナー活動

ボランティア活動報告 ～救護・コンディショニングルーム～



■「2018スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」関係者の皆様、救護・コンディショニングとして参加させていただき、感謝しております。また、参加にご協力いただいた理事・会員の諸先生方お疲れさまでした。

陸上競技2日目、ハムストリングスの痛みを訴えるアスリートが訪れ、アイシング・さっか鍼・テーピングを施したら、痛みは消失し、笑顔で帰られました。その後の800メートルリレーに参加し、2位を引き離しての優勝し、治療効果以上の結果が出て嬉しく、鍼灸治療効力が証明され、これを機会に少しでも、アスリートの皆さんに広まり大きなプラスになればと思いました。

救護班でご一緒させていただいたドクターに感謝しています。常に某会員から「鍼灸は適応疾患多く効果があるが、治療ができる鍼灸師が少なく、医師からの信頼がない」と言っていました。今回、同伴していただいた医師は、最初から我々鍼灸師に診断・治療すべて任せさせていただき、その結果予後良好になり、アスリートも医師も笑顔となり朗らかな場となりました。この場だけでも、医師と鍼灸師が友好的になりこの場以外でもこのような関係が築ければ最良の医療が提供でき、地域社会にとっても大きなプラスになると思いました。

スペシャルオリンピックスを通じて、鍼灸がアスリートはじめ多くの参加者に認知していただけ感謝しています。

今大会スローガン「超える喜び」

目の前にある難題や課題を「超え」、そこから得られる「喜び」を手にしてますます「鍼灸」がひろがり、皆さんに喜ばれるよう成長していきたいと思えます。大会関係者、アスリートの皆様はじめ多くの参加者の皆様方、ありがとうございました。

(池田 達)

■スペシャルオリンピックスボランティアに参加して

一日目は、パロマ瑞穂スタジアムで陸上競技のコンディショニングコーナーを担当しました。7名が来室し、競技後の疲労や関節の痛みなどに対して鍼灸師3名でさっか鍼とテーピングを行いました。皆さん初めてのさっか鍼でしたが怖がることなく受け入れていただきました。そして、筋肉の張りなどに対するさっか鍼の効果を実感することができました。

また、貴重な医療連携の経験も得られました。5000m走に出場後、骨盤のズレが気になると訪れた男性アスリートは、治療前のSpO₂が92%と低い数値でした。自覚症状はなく、顔色良好、意識清明、会話しながら歩行可能で異常は認められませんでした。救護室の医師に相談の上で念のために診察を受けていただきました。救護室へ移動後、別のパルスオキシメーターで測定すると数値は97%と出て診察結果も問題なし、とのことで一同安堵いたしました。

二日目は、日進の愛知学院大学AGUスポーツセンターにて競泳の救護を担当しました。この日は、鍼灸師は出番がなく平穏な1日となりました。競技の応援をしたり、熱戦を終えたアスリートやコーチ陣をハイタッチで見送ったり、また、看護師の方に足底のテーピングを体験してもらうなど医師や看護師の方々と親睦を深めることもできて、非常に充実した二日間でした。

開会式、競技、閉会式のすべてに参加させていただいて、この大会の温かさを感じ、アスリート達の素直さに触れ、とても清々しい気持ちになりました。大変素晴らしい機会をいただいたことに感謝いたします。

(鶴見 祥子)

■**スペシャルオリンピックス(SO)**とは知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングと、その成果の発表である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。運営はすべてボランティアと善意の寄付による非営利組織。その目的は参加する知的障害の人たち、すなわち【アスリート】と呼ばれる人たちの自立と健康増進、家族や地域の人々と、才能や技術、友情を分かちあう継続的な機会を提供すること。今大会は2019年アラブ首長国連邦アブダビで開催されるSO世界大会への日本選手団選考会を兼ねており、アスリートにとって大事な大会です。ボランティア活動においてはアスリートのみならず大会関係者も含め救護、コンディショニングを行いました。参加会員の活動報告です。(施術方法はアイシング、テーピング、擦過鍼です。アスリートの人たちの中には先端恐怖症の方もおられるとのことで、豪鍼による施術は行いませんでした)

■**スペシャルオリンピックス(SO)パロマ瑞穂運動場にボランティア参加しました**

9月23日(日) 晴

30度前後の日向は暑くとも日陰は割と過ごしやすい気候で、心配された熱中症のアスリートは救護室に来ませんでした。救護室の医師や看護師と連携をとりつつアイシング処置やテーピングを行いました。

テーピング処置を行ったアスリートが長距離走行中こちらに手を振って走って行くのを応援したり、転倒による心理的負担により受診したアスリートを、医師の「大丈夫走れる??」と後押しされ、競技では2位になったり、更にリレーでの活躍を見られたのは喜ばしい事でした。

一緒にトレーニング走行しているコーチのかっさ鍼とテーピング処置等もありました。

大規模なイベントでの活躍という不馴れな環境で活躍するアスリートに感動しました。

刺虫症(虫刺され)が多かったのが意外でした。私物で持っていったかゆみ止めがあれば役立っとはちょっと想定外でした。

9月24日(月) 晴

前日と比べ若干蒸し暑さを感じる日でした。10時前に到着すると、既に大島先生、長谷川先生がテーピング等の処置を2名程行ったとの事でした。前日の予選より本選の緊張感も漂っていました。

試合の合間に行われる表彰式でメダルをもらい誇らしく手に持つ姿が印象的でした。

昼食中には熱中症で棄権となった方と、試合後精神的に不安定になった方が一時、個室休憩にベッドを利用しました。

競技終了後、撤収直前に2名、肉ばなれ等で処置が行われ慌ただしく終わりました。

2日を通して感じたこととして、経口補水液が用意されており、鍼灸師会側で用意する必要が無かったかと思いました。



医師や看護師と連携が取れて良かった事、アスリートのひたむきな姿勢や、コーチ、ボランティアのひたむきさに心打たれました。

発達障害児の母としても次回以降は息子と参加できたらいいな、とも思いました。SOにささやかながら参加できた事に感謝します。

(廣山 洋子)

各ブース担当及び患者数		参加者 21人	鍼灸師 担当患者	医師 担当患者
9月23日(土)				
鍼灸	愛知学院 日進市	コンディショニング コーナー	山岡 大島 長谷川	0
		救護	山岡 大島 長谷川	0 2
鍼灸	瑞穂パロマ 名古屋	コンディショニング コーナー	山岡 大島 長谷川	7
		救護	山岡 大島 長谷川	4 2
ボウリング	名古屋ボウル 名古屋	救護	山岡 大島 長谷川	0 0
馬術	同朋学園 大府	救護	山岡 大島 長谷川	0 0
ゴルフ	瑞穂カントリー 名古屋	救護	山岡 大島 長谷川	0 1
テニス	豊山がニス 名古屋	救護	山岡 大島 長谷川	0 2
9月24日(日)				
鍼灸	愛知学院 日進市	コンディショニング コーナー	山岡 大島 長谷川	0 3
		救護	山岡 大島 長谷川	
鍼灸	瑞穂パロマ 名古屋	コンディショニング コーナー	山岡 大島 長谷川	3
		救護	山岡 大島 長谷川	3 1
ボウリング	名古屋ボウル 名古屋	救護	山岡 大島 長谷川	0 1
馬術	同朋学園 大府	救護	山岡 大島 長谷川	1 0
ゴルフ	瑞穂カントリー 名古屋	救護	山岡 大島 長谷川	1 0
テニス	豊山がニス 名古屋	救護	山岡 大島 長谷川	1
		患者数 合計		20(1)人 13(1)人

「愛西市健康まつりに参加して」

平成30年11月4日(日)
@愛西市佐屋保健センター

園光ゆりか



11月4日(日)午前9時から午後2時まで愛西市の「愛西市佐屋保健センター」で「愛西市健康まつり」が開催されました。(一社)愛知県鍼灸師会も、東洋医学コーナーのブースにて治療体験活動を行いました。

具体的には、今回はセイリンのプラスチック製円筒型接触鍼、カナケンのプラスチック製へら型接触鍼、長生灸ぬめ、銀古鍼を用いて、来場者の希望の部位に、座位で行いました。来場者は、「刺さないはり」でも、皮膚を刺激することによって肌の状態がよくなることや、気持ちがいいという感覚、お灸との併用でさらに手に汗をかくほど体が温まる感覚などを体験してもらいました。「はじめは怖かったけど、気持ちがよくよかった」という中学生の感想もありました。銀古鍼の施術をうけた人からは、「目が疲れていたが、施術をうけてすぐに世界が明るく見える」「施術してもらったところがポカポカする」との声が聞かれました。

来場者のなかには、治療を受けてみたいが、どこにいけばよいかわからないとの声もありました。

普及活動とともに、治療院紹介なども検討してもよいのではないかと思います。

あいにくの雨降りで、例年よりも少ない出足でしたが、来場者は142名、うち子供が2割、高齢の方が7割、働き盛り世代が1割程度でした。

はりきゅうの治療は全身の免疫力を高めることが期待できること、疾病の治療や予防に効果のあることなどを伝えつつ、普及活動を終えました。



「愛西市健康まつりに参加して」

平成30年11月4日(日)
@愛西市佐屋保健センター

國光ゆりか



11月4日(日)午前9時から午後2時まで愛西市の「愛西市佐屋保健センター」で「愛西市健康まつり」が開催されました。(一社)愛知県鍼灸師会も、東洋医学コーナーのブースにて治療体験活動を行いました。

具体的には、今回はセイリンのプラスチック製円筒型接触鍼、カナケンのプラスチック製へら型接触鍼、長生灸ぬめ、銀古鍼を用いて、来場者の希望の部位に、座位で行いました。来場者は、「刺さないはり」でも、皮膚を刺激することによって肌の状態がよくなることや、気持ちがよいという感覚、お灸との併用でさらに手に汗をかくほど体が温まる感覚などを体験してもらいました。「はじめは怖かったけど、気持ちがよくてよかった」という中学生の感想もありました。銀古鍼の施術を受けた人からは、「目が疲れていたが、施術を受けてすぐに世界が明るく見える」「施術してもらったところがポカポカする」との声がかれました。

来場者のなかには、治療を受けてみたいが、どこにいけばよいかわからないとの声もありました。

普及活動とともに、治療院紹介なども検討してもよいのではないかと思います。

あいにくの雨降りで、例年よりも少ない出足でしたが、来場者は142名、うち子供が2割、高齢の方が7割、働き盛り世代が1割程度でした。

はりきゅうの治療は全身の免疫力を高めることが期待できること、疾病の治療や予防に効果のあることなどを伝えつつ、普及活動を終わりました。



「第38回 全日本歯科医師テニス大会 スポーツ鍼灸トレーナー活動報告」

平成30年11月3日(土祝)・4日(日)

@一宮市テニス場

児山 俊浩



11月3日(土祝)～4日(日)一宮市テニス場にて、全日本歯科医師テニス連盟主催『第38回全日本歯科医師テニス大会』が開催され、本会として長谷川会長、池田先生、坪内先生、児山の4名で、スポーツ鍼灸トレーナー活動を行いました。本会理事の長岡先生のご紹介により、今大会での活動ができることになりました。



2日間で合計28名の選手が受診されました。受診された選手は、膝・肘・手首の関節の痛みや頸・肩・腰・臀・大腿・足・季肋部等の張りや痛みが多く、また、テニス試合中の右下腿の肉離れや両下腿の筋痙攣、急性腰痛等の急性の症状もありました。大会に向けて、事前準備など多忙を極めました。皆様のご協力のおかげで、選手のサポートを行うことができました。次年度は、静岡県で開催されます。引き続き、スポーツ鍼灸のサポートを静岡県で行っていただければとても嬉しく思います。

この度、鍼製品のご提供をいただきました株式会

社セイリン様に心より感謝を申し上げます。そして、このような機会をいただきました大会会長はじめ関係者の皆様方に心より感謝を申し上げます。

平成 27 年度 (一社) 愛知県鍼灸師会公益活動報告

・志學館大学レスリング部鍼灸治療

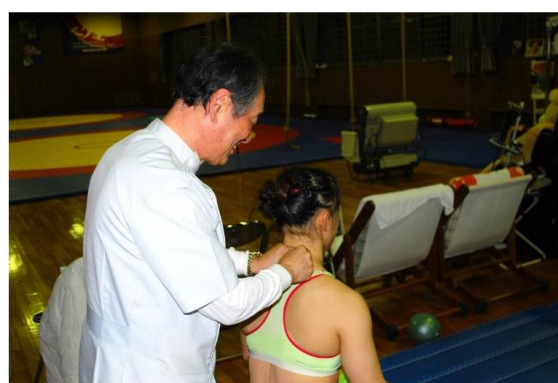
平成 27 年 4 月 15 日

(一社)愛知県鍼灸師会

至学館 (旧中京女子) 大学レスリング部鍼灸治療報告

一般社団法人愛知県鍼灸師会常任理事

組織部長児山俊浩



平成 27 年 4 月 2 日 (木)、(一社) 愛知県鍼灸師会として長谷川会長と私で、至学館 (旧中京女子) 大学女子レスリング部の鍼灸治療に行ってきました。至学館大学レスリング部とは、世界的にみても名門中の名門校で、オリンピック選手や格闘家を数多く輩出している大学です。全国からトップレベルの選手達が集まり、緊張感のある中、厳しい練習を行っていました。

日々の激しい練習、トレーニングそして、レスリングの競技特性により多くの選手がスポーツ外傷、障害に見舞われていました。打撲、脛骨疲労骨折、シンスプリント、バーナー症候群、後十字靭帯切断後の疼痛、腰痛、股関節痛、肩関節痛、足背部痛等々があり、かなり体を酷使していることがわかりました。

全日本チャンピオンの鍼灸治療が終わり、怖々みていた他の選手に、「痛くないから 1 本だけうって見たら」と会長が話しかけたところ、最初の一人が「じゃあ 1 本だけ」と手を出してきたので鍼を 1 本だけ打ちました。鍼を打たれた瞬間「ほんとだ、痛くない！」とビックリしていました。そうすると、他の選手達も「じゃあ私も」「私も」と次々に鍼の体験をしていきました。痛くないことが分かると、俄然鍼灸治療に興味が出てきたのか、「実は膝が痛いんですけど鍼で治りますか?」、「私は腰が痛いんですが・・・」「ジャンプすると足首が痛いんです。」と、次から次へと質問をされ、その後、実際に鍼灸治療をしていくことになりました。最終的には、会長と共に 8 名の選手に鍼灸治療をさせていただき、殆どの選手

が、痛みが無くなり、鍼治療にて可動域が広がること、そして、炎症を軽減させる効果があることを、身を以て感じていただけました。

選手の皆さんは、皆礼儀正しく明るい素晴らしい選手ばかりで、私たちもとても楽しく治療をする事ができました。2日後の土日に京都で大会があり、高3～大学1、2年生のカテゴリーにて、4名優勝できたとの事、私たちもとても嬉しく思いました。

今後も定期的に治療に伺うと共に、大会前あるいは大会帯同等、選手のために、鍼灸治療によるサポートができればと考えています。



平成 27 年度（一社）愛知県鍼灸師会 公益活動報告

- ・平成 27 年愛西市健康祭り鍼灸ボランティア活動（報告者 2 名）

「愛西市健康まつりに参加して」

（一社）愛知県鍼灸師会会員（入会 2 年目）

勤務鍼灸師 藤田 由佳理

愛西市健康まつりに、鍼灸師として今回参加させて頂いて、まず驚いた事は健康まつりの規模の大きさと来場者の方の多さでした。そしてさらに驚いた事はその中で 160 名程の方が鍼灸や東洋医学に関心や興味を持って来て下さった事でした。

様々な健康の悩みを相談しに来てくれた方や、純粋に鍼やお灸とはどんなモノかと実際に体験をして下さった方々、はたまた小児はりのリピーターのお子さんたち。皆さん色々な角度から鍼灸に近付いて来てくれて、鍼灸師の 1 人としてとても嬉しく思いました。

まだまだ鍼灸の素晴らしさが多くの方に伝わらない現状が、愛西市の健康まつりをきっかけに少しずつでも広がって行く様に、これからも今回のような活動を行いたいと思えました。これらも皆さんの健康のそばにある鍼灸治療でありたいと再認識したと同時に、とても貴重な体験をさせて頂き関係者各位の皆様へ感謝を送りたいと思います。ありがとうございました。



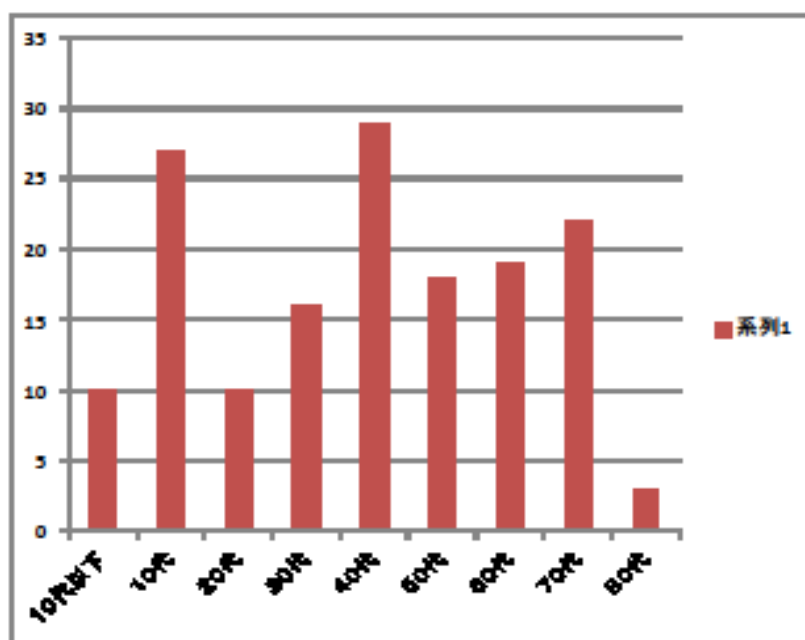


「愛西市健康まつり 参加報告書」

(一社) 愛知県鍼灸師会理事 杉原由美子

11月1日、愛西市健康まつりに於いて、(一社) 愛知県鍼灸師会として「東洋医学コーナー」を設置し健康まつりに参加協力してきました。お天気も良く沢山の人が訪れ、秋晴れの1日を楽しんでみえました。「東洋医学コーナー」には、168名の方が来場され、11名のスタッフが大忙しでした。アンケートの結果は、男性43名、女性114名、不明1名、未回収が10名でした。年代別では下記のような結果でした。

10代以下	10
10代	27
20代	10
30代	16
40代	29
50代	18
60代	19
70代	22
80代	3



来場された方の主訴は、腰痛、肩こりが多く、その他には膝の痛み、耳鼻科疾患、40肩などでした。来場者からの質問として、「鍼はどんな病気に効くのか?」「痛みはないのか?」「傷跡が残らないのか?」など、素朴な疑問が多く、それら一つ一つの疑問に対して、協力いただいた鍼灸師の皆さんが丁寧にご説明をしたところ、鍼灸治療の体験後は、「痛くない。」「楽になった。」「鍼灸って不思議ですね。」という声が多く、殆どの方が満足して帰られました。今回の活動を通じて、啓発活動の必要性をあらためて感じました。

- ・平成 26 年愛西市健康祭り鍼灸ボランティア活動

平成 26 年愛西市健康まつり報告書

報告者：杉原由美子

11 月 2 日（日）午前 9 時から午後 2 時まで愛西市の「愛西市佐屋保健センター」にて「愛西市健康まつり」が開催されました。当日は、前日までの雨も上がり、沢山の人が会場を訪れました。愛知県鍼灸専門師会も、鍼灸や小児はりを、より多くの人に知ってもらい、皆さんの健康に役立ててもらおう目的で「東洋医学コーナー」を開設し参加協力しました。具体的には「東洋医学相談コーナー」「鍼灸治療体験コーナー」を設け、愛知県鍼灸専門師会の鍼灸師 9 名が、173 名の相談や鍼灸体験治療を行いました。173 名の内、小児はりを体験した子供達は 40 名でした。初めて体験された人たちはそろって「あれ、もう打ったの」とか「鍼ってぜんぜん痛くないんですね。」と口を揃え、他の人たちにも「一回、打ってもらったら、ほんと痛くないよ」と進めてみえました。鍼が痛くないこと、鍼に対する怖さを払拭出来たこと、参加者みんな喜んでいました。



平成 25 年度 （一社）愛知県鍼灸師会 公益活動報告

・平成 25 年愛西市健康祭り鍼灸ボランティア活動

平成 25 年度 愛西市健康まつり報告書

平成 25 年 11 月 3 日、愛西市佐織保健センターにて開催されました「愛西市健康まつり」に愛西市より「東洋医学コーナー」を開設して欲しいとの要請があり、愛知県鍼灸専門師会より、11 名の先生方にご協力をいただいて、参加してきました。

体験された方は 150 人丁度でした。そのうち小児はりを体験された子どもさんは 45 人でした。まだ詳しく分析はしていませんが、受付表によりますと、一番人数の多かったのは 70 歳台ですが、60 歳以下の若い年齢層の人が、60 歳以上の人を上回り、特に目立つのは 30 歳台の若いひとが、70 歳台の人に次いで多いことでした。働きざかりの人の疲労からくる疾病に対するニーズがかなりあるものと思われます。いろいろもっと分析すれば、いろんな事象を示唆してくれると思いました。それと、やはり、鍼に対する恐怖を持っている人が多く体験していただくと痛くない事に驚いていました。このような啓発活動の必要性をあらためて感じました。

ご協力いただいた先生方は、長谷川栄一先生、池田 達先生、鈴木浩司先生、小楠英晃先生、石原祥雄先生、光川千鶴子先生、高橋日出子先生、石井美恵子先生、国光ゆかり先生、長谷川聡先生、それと杉原です。ご協力感謝します。

文責 愛西市担当 杉原由美子





「愛西市健康祭りの鍼灸ボランティア活動に参加して」

やよい鍼灸院 石井美恵子

11月3日（日）に愛西市の健康まつりが、愛西市佐織町の佐織保健センターで開催されました。愛知県鍼灸専門師会では東洋医学コーナーを開設し、鍼灸の啓発活動をしました。私も、そのスタッフの一員として 始めて参加してみました。

愛西市の杉原先生や長谷川会長を中心として、11名の先生方が参加されました。受付で簡単な問診とアンケートを取り、今回は、対症療法として体の気になるところに鍼灸治療（主に鍼）を体験して頂きました。初めての方も数多くいらして、“鍼は怖い。”と言ってみえた方が、体験後は、“鍼って痛くないんですね、これなら大丈夫だわ”と言われ、ホッとしました。また、今回は小児はりを体験されるお子さんがたくさんいらして、子どもさん達は興味津々で鍼を体験していました。最初はどんなことされるのかと不安げだった子どもさんが、鍼を体験するとくすぐったがり、最後にはにこにこの笑顔をして帰って行かれるのは、見ていてもとても楽しかったです。

他には、体験治療にいらした方々と話をしていると“うちの子は昔、小児はりをよくやっ
たよ”“病気になったら鍼医者によく連れて行ったから、今は大きくなったけど体
は丈夫で健康だ”と言われ小児鍼の大切さも感じました。

私は、普段、自分の治療院ではゆったりとしたペースで治療をしているので、すが、ここ
では次から次へと患者さんがみえ、短時間で鍼治療をし、なおかつ満足して帰っていただく
というような休む暇もない状態で、終わるころにはへとへとになっていました。

初めてこのようなお手伝いに参加させて頂き、他の先生方の治療の仕方も見せて頂くこ
ともできましたし、交流を持てたことも大変良かったと思います。また、長谷川会長が、始
まる前に「今日は十分に楽しんでいって下さい。」と話されてみえましたが、確かに、大変
ではありましたが本当に楽しい一日でした。

今回準備などで大変お世話になりました杉原先生、長谷川会長には感謝しています。
ありがとうございました。



平成 23 年度 （一社）愛知県鍼灸師会 公益活動報告

・平成 23 年愛西市健康祭り鍼灸ボランティア活動

『 愛西市健康祭りにて、105名が鍼灸を体験 』

報告者：杉原由美子

平成 23 年 11 月 6 日（日）午前 9 時～午後 3 時まで、愛西市保健センターにて、「愛西市健康祭り」が開催されました。愛知県鍼灸専門師会から、11 名の会員が参加協力をし、101 名の方に鍼灸の体験をしていただきました。時折、小雨のふる、あいにくのお天気で、いつもの年に比べ、来場者はやや少なめでしたが、鍼灸体験者は 69 名で、小児はり体験者は 36 名でした。年齢層は 30 歳代～50 歳までの比較的若い層が多く、主訴としては、肩こり、冷えを訴える方が多く、高齢者では腰痛を訴えられる方が多く見受けられました。



文責 杉原由美子



健康相談コーナーでは、より深く問診や脈診を行い、局所治療よりも原因治療（本治法）の重要性を説明しました。単なる肩こり、腰痛のみでなく、様々な病気に鍼灸の効果があることに驚いてみえる方もありました。初めて体験された方は、はりが痛くないことに、驚いてみえました。「以前から、鍼灸治療はいろいろな病気に効果があると言うことを聞き、一度受けたいと思ってはいたが、どこに行けば良いのか判らなかつた。」と言う声も多く聞かれました。このように、鍼灸に対する期待は高まっているのですが、疾病治療をする鍼灸専門治療院は、まだまだ一般に認識されてないようです。このことは、我々、鍼灸師の責任でもあるとあらためて思いました。これからも、地道にこのような啓発活動を続けていくことが重要であると再認識しました。